

みんなで語る会報告書

対象団体	魚見校区自治公民館連絡協議会
テーマ	「みんなで語ろう私たちの地域」
開催日時	平成23年11月18日(金) (19時00分～20時30分)
開催場所	魚見校区公民館
参加者数	校区民…22人 指宿市…14人

総計36名

会次第

全体進行・・・市長公室長

- 1 開会のあいさつ (野元重信・魚見校区自治公民館連絡協議会副会長・尾掛地区館長)
- 2 市長あいさつ
- 3 魚見校区の現状報告及び課題の提起等 (諏訪園一行・下吹越地区館長)
- 4 グループごとの協議 (進行・富永副市長)
- 6 各グループの発表・まとめ
- 7 閉会のあいさつ (深田久美子・五郎ヶ岡地区公民館長)

内容等

1. 開会のあいさつ (野元重信副会長)

本日は、忙しい中に集まってお話しいただきありがとうございます。校区や地区で抱えている事を出していただき、みんなで話し合っ解決していただきたい。市長を始め各部課長さん方も出席しているので一緒になって地区発展のために話し合いをして欲しい。魚見校区発展のために力を貸していただきたい。

2. 市長あいさつ

市長と語る会ではなく、みんなで語る会となっている。いろいろ議論をして自分の思いを述べていただき、そして何か決めていただきたい。決まったらそれを何かの形で実行に移そうと言う会だ。ぜひ皆さんの思いを各グループで述べていただきたい。

3. 魚見校区の状況報告および課題の提起等 (諏訪園館長)

魚見校区は4地区、完全なる高齢者が住む尾掛、ますます戸数の増える五郎ヶ岡、完全に農家集落の多い下吹越と上吹越で形成されている。それぞれに文化的な行事がある。例えば、尾掛のイシナト、下吹越の相撲甚句とかそれぞれにある。それを盛り上げようと一生懸命に取り組んでいる。

課題もある。各地域に婦人部、防犯、老人クラブなどたくさんの組織があるが、その組織が、余りにも偏った形での一人歩きをしていないか。全員のものになっているのか。また、幼稚園から高齢者まで異年齢による交流が活発にされているのか。その辺の本音を語り合ってもらいたい。

先輩後輩の繋がりがなくなると社会は崩壊すると思う。そういう問題を魚見校区は抱えている。農業では、安心安全な作物を目指してやっているが、農薬散布にしても隣近所の事を考えているのか、あるいは量を守ってやっているかという問題も抱えている。

公民館便りの中で、自分だけでもいろんなことを守ろうと書くが、資源ごみの問題もそうだ。みんなが守っていかないといけない。その辺の取組みをやっていかなければならない。

各集落、色々な伝統文化やいろんな課題を抱えている。みんなで話し合うことで行政だけでなく、お互いに前に進んで、前を向いて意見交換ができたらと考える。

下吹越に木造観音様があり、鹿児島市の慈眼寺にある考古学博物館にも展示をしたが、淋しげに座っていた。遠くは本州からも願掛けにくる。田舎にもいろいろな文化施設があり、知恵を出しながら、できないところは行政にお願いしながら今日の語る会ができればと思っている。

4. 各グループの発表・まとめ

(4グループに分かれ、その中で各人が次の①②③について提案。それをグループ内で協議し、集約した後に、グループの代表者が発表)

- ①魚見校区の「ここが自慢できる」、「ここがいい」というものについて
- ②魚見校区がこれからどのようなようになってほしいか、どのようにしていきたいか
- ③そのために、自分たちにできること、指宿市にしてほしいこと

1班

- ①「ここが自慢できる」、「ここがいい」というものについて

- ・市の中心部で住みよい。生活がしやすい
- ・子どもの登下校の挨拶がよい。学校の指導がよい
- ・バナナ給食がある
- ・道路も整備されている
- ・魚見岳，知林ヶ島など自然が豊かである
- ・人が優しい
- ・4地区の連携が取れ，校区のまとまりがある

- ②これからどのようなようになってほしいか、どのようにしていきたいか

- ・交通事故をなくし，防犯灯など安全で安心できる環境づくり
- ・子どもから高齢者まで安心でき，思いやりのある校区
- ・子どもから高齢者まで一緒に交流できる校区
- ・魚見岳への案内看板の設置（鹿児島方面からの訪問者が分かりづらい）
- ・自然の豊かさを再認識して子どもたちに伝承していきたい
- ・魚見校区公民館が避難所になっているが，豪雨のときは山を抱えて危険である。避難所の再点検をしてもらいたい

- ③自分たちにできること，指宿市にしてほしいこと

<自分たちにできること>

- ・農道の草払い，側溝の泥上げ
- ・安心安全のためのチェック

<指宿市にしてほしいこと>

- ・吹越・尾掛海岸に重機を入れて年に数回，海岸の清掃をして欲しい
- ・魚見岳は花のメッカ，知林ヶ島を見るのもいい所なので，登山道の整備
- ・魚見小学校前が30センチから冠水するので古賀道路の冠水対策
- ・離岸堤はしてもらったが，魚見港まで無いところがあり，道路の根が洗われているので尾掛海岸の高潮対策をして欲しい
- ・横断道路や市道の路側帯のラインの整備
- ・魚見小の体育館の雨漏り点検

【意見発表】

(区民)

・時間がなくてここまでしか話できなかったけれども，最終的には子どもたちの安全安心をみんなで見守り，助け合っていないといけないと言ったことが出た。それをこれからやっていきたい。

(副市長)

・魚見小の学校の点検があったが，学校施設については毎年各学校から要望を上げてもらっているが，財源的にも限度があり，優先順位を決めてさせていただいている。

2班

- ①「ここが自慢できる」、「ここがいい」というものについて

- ・子どもたちの挨拶がよい。大人が挨拶してくれる
- ・カンタ公園など楽しめる場所がある。子どもたちが安心して遊べる
- ・観音様がある
- ・集落でレクリエーションをしたり団結力がある
- ・登下校中に地域の人が声掛けをしてくれる

- ・自然が豊か（海あり，山あり）
- ・買い物や市役所にも近い
- ・校区公民館に遊びに行ける
- ・生活がしやすい。安心安全
- ・三世代交流などお年寄りとのふれあいがある
- ・都会から帰ってきてもいい人付き合いがある。優しい方が多く付き合いもしやすい

②これからどのようになってほしいか、どのようにしていきたいか

- ・若い人や新規の人が公民館に加入して欲しい
- ・魚見岳をもっと身近に活用してもらいたい。桜をもっと植えるとか夜桜するとかアピールして欲しい
- ・老人，子どもたちのケア
- ・待機児童もいるので保育園を増やして欲しい

③自分たちにできることにできること，指宿市にしてほしいこと

<自分たちにできること>

- ・地域行事への参加へ積極的に取り組むこと
- ・隣近所への声掛け

<指宿市にしてほしいこと>

- ・公民館への加入者を増やすために市政だよりで告知して欲しい
- ・魚見岳を桜の名所としてイベント等を組んでPRして欲しい
- ・子どもたちのケアとして一人親世帯など専門員による声かけや保健センターから出向いて欲しい
- ・保育園を増やして欲しい
- ・ヤンバルトサカヤスデの駆除
- ・街灯，安全灯を増やして欲しい
- ・独居老人の対策をして欲しい
- ・小さい子どもに対してのケア

3班

①「ここが自慢できる」、「ここがいい」というものについて

- ・子どもたちの挨拶がよい
- ・地区の行事が多く，異年齢による交流が盛んである
- ・カンタ公園管理がされ，パークゴルフが盛んである
- ・昔から遠泳大会が続いている（30年位，1.7キロ）
- ・学校が中心となり，地区行事（遠泳大会）への協力体制がよい
- ・三世代交流が盛んである
- ・校区内で新鮮な野菜が年間を通して生産されている
- ・自然（知林ヶ島，魚見岳，魚見港）が豊かである

②これからどのようになってほしいか、どのようにしていきたいか

- ・地区行事をもっと若い世代がリーダーシップをとって欲しい
- ・若者の定住促進を図りたい。若者が地域に住みたいという雰囲気を作りたい
- ・魚見岳を利活用したイベントの開催
- ・新鮮な野菜市場の開催
- ・農産物の付加価値をつける加工産業の推進
- ・農産物の産地の維持

③自分たちにできること，指宿市にしてほしいこと

<自分たちにできること>

- ・行事に参加すること
- ・声かけ，挨拶の励行
- ・環境整備や催し物へのボランティア

<指宿市にしてほしいこと>

- ・街灯の維持管理を負担して欲しい（道路を含む）
- ・市道の整備（沖原団地付近）
- ・魚見岳に遊具施設の設置及び観光名物になる物の設置
- ・道路整備（市内外から魚見地区をPRできるルート作り）

4班

①「ここが自慢できる」、「ここがいい」というものについて

- ・尾掛地区は霜が降りない土地
- ・指宿のブランド品であるソラマメ・オクラができる
- ・子どもの挨拶がとてもよい
- ・小学生の遠泳大会をやっている
- ・校区公民館が子どもの心のよりどころになっている
- ・校区公民館に講座が増えた
- ・カンタ公園でグラウンドゴルフができる
- ・お互い様のある校区で協力心がある
- ・防犯組合が校区公民館の草払いをする
- ・花見会等、各地域盛り上がる
- ・下吹越観音様に他県からの参拝者が多い

②これからどのようになってほしいか、どのようにしていきたいか

- ・高齢化率が高いので子どもが増える集落
- ・若い男女が結婚して欲しい
- ・事故や犯罪のない集落にして欲しい
- ・校区がまとまって何かができるように連携を取り合って欲しい
- ・五郎ヶ岡地区の世帯が増えているので、地区を分割して欲しい
- ・瀧山の子どもたちは魚見小が近いので実態に即した校区割りを
- ・小学校の通学路の歩道を広くしたい
- ・古賀道路の配水が良くなってもらいたい
- ・尾掛集落道路の中央水路の段差をなくしてもらいたい

③自分たちにできること、指宿市にしてほしいこと

<自分たちにできること>

- ・男女の出会いの協力
- ・地区内の防犯パトロール
- ・土曜日の青少年健全育成
- ・六月灯・花見など地域活動への協力
- ・子どもたちに対するあいさつ・声かけ運動
- ・独居高齢者への地域での見守り活動
- ・学校応援団への協力
- ・奉仕活動への参加
- ・環境を守る取組み

<指宿市にしてほしいこと>

- ・魚見岳南側道路境界問題の解決を
- ・尾掛集落中央の水路の段差解消を
- ・尾掛海岸離岸堤の整備
- ・五郎ヶ岡の集落加入者が少ない（ごみ捨てマナーが悪い）
- ・集落加入者を増やしてもらいたい⇒市からの話、ペナルティ等
- ・土日の死亡記事が掲載されない。住民に対する周知方法を
- ・ハザードマップの作成の手伝いを。助言をいただきたい
- ・若い男女の出会いの場や機会を作って欲しい

【その他意見発表】

(区民)

・2 班のここが自慢できるというところで、大事なことを忘れていた。校区公民館に遊びに来れることを本当に感謝している。昔の校区公民館は閉鎖的であったが、魚見校区公民館は本当にオープンで館長さんを始め向吉主事さんが子育てに協力してくださることに對し、この場を借りてお礼を言いたい。

(池田教育長)

・魚見小学校はいろいろなイベントをしているが、今年初めて海がめの卵のふ化を行った。子どもたちは非常に関心を示し、良かったのではないかと思っている。魚見校区公民館を誉めていただいてありがたい。向吉主事が一生懸命に頑張っているおかげだと思う。

(区民)

・防犯組合で芋ほりを6回やってきたが、今年、魚見岳という焼酎を作るようになった。出来上がったら皆さんに声を掛けるので一本でも購入していただきたい。校区防犯の費用になるのでお願いしたい。

【まとめ】

(豊留市長)

・ここに出された「離岸堤の整備をしていただきたい」というのは県にお願いをして、来年度の県への重点要望事項のひとつに加えないといけないと思っている。

・魚見校区というと魚見岳、知林ヶ島、そして尾掛からの桜島はきれいである。そこをどう生かすかを考えないといけないと思っている。例えば、尾掛海岸の道路の向こうにボードウオークを休暇村から吹越まで作るとたくさんの人が歩きに来て、県外からも来るのではないかと。

・今後ここがどんな風が変わっていくだろうと考える観光道路としては今和泉からまっすぐこっちを通って摺ヶ浜に行く道が観光道路となる可能性がある。そうした場合、魚見をどうしていけばいいかということをも5年、10年のスパンで考えていかなければならない。

・先日、韓国にウォーキングに行った。山に遊歩道を作ってありびっくりした。あの魚見岳の階段のところにおきでも杭を打って、そこに電気を仕込んで夜でも歩けるようにすると山全体が見える。太陽光を利用し、余りお金はかからない。所々に休める場所を設けて専用のベンチを置く。階段入口は駐車場を整備し、親子や夫婦で階段が利用されるかも知れない。そういう仕掛けをしないとダメだと思った。

・魚見校区の問題点というのは、夜、吹越地区に行くと道に迷う。田口田から魚見に行くメイン道路には5メートルおきくらいに杭を打ってそこに電気を取り付けきれいにできるようにできないか。そういう方法は取れないか考えている。

・魚見校区というのは、面倒見のいい、声掛けをしてくれるところであるが、五郎ヶ岡という団地ができて、あそこをどう地域活動に引き出すのかというのが、この地域づくりの核だろうと思う。私も鹿児島島の団地に住んでいたが、380世帯の全員が町内会に入っていた。管理費を取っておりそれで子ども会活動費等を出していた。町内会に入るのを条件にしていた。そういうことはできないのかなという気がする。同じことが大園原団地でも問題になっている。町内会に入らなくても子どもたちは子ども会に参加しているわけで、そして商品ももらったりしている。それは公民館費で補填していると思う。子どもがいて町内会に入らないというのは、おかしいと思っている。

・カンタ公園みたいなのをあそこだけじゃなく、五郎ヶ岡やあの辺でお年寄りや子どもたちが遊べる広場があったらもっとふれあいが深まるだろうなという気はする。

・提案された魚見岳の活用の仕方、離岸堤の問題、道路の問題、道路標識の問題等は現地を見させていただいて、すぐにできるものは、これをこういうふうにやりますということをお公民館長さんの方に、今日の話合いの結果はお返す。

(諏訪園館長)

・昨日と今日、宮崎県の川南町に視察に行った。人口が16000人だが、毎月1回第4日曜日に軽ト

ラックを 180 台位並べて盛大な市が開かれている。いろんな産物を積んで、川南町の人が 3 割来て、7 割が町外からで、1 万人以上毎月来ている。私たちも何か考えていかないといけないと思った。

7. 閉会のあいさつ（深田久美子館長）

・本日はいろんな意見が出た。自分でできることもたくさん出ている。皆さん自分のできることを言われたので実行してほしい。魚見校区は絆という言葉がたくさん出ていたのもっと深い絆ができるように、これからも皆さん頑張ってくださいと思う。市長からも力強い言葉を頂いた。地区にもちゃんと連絡があると思うので、皆様にご報告をして、それにのっとなって私達も頑張りたい。